

令和2・3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の効果検証について

1 概要

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」、「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」で示された対応を実施する際に、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに事業を実施できるよう創設されました。

地方公共団体で臨時交付金を活用した事業が終了後、効果検証を行うこととされており、令和2・3年度の効果検証をとりまとめました。

2 江田島市に配分された臨時交付金の概要

(1) 実績額

令和2年度 454,586,036円

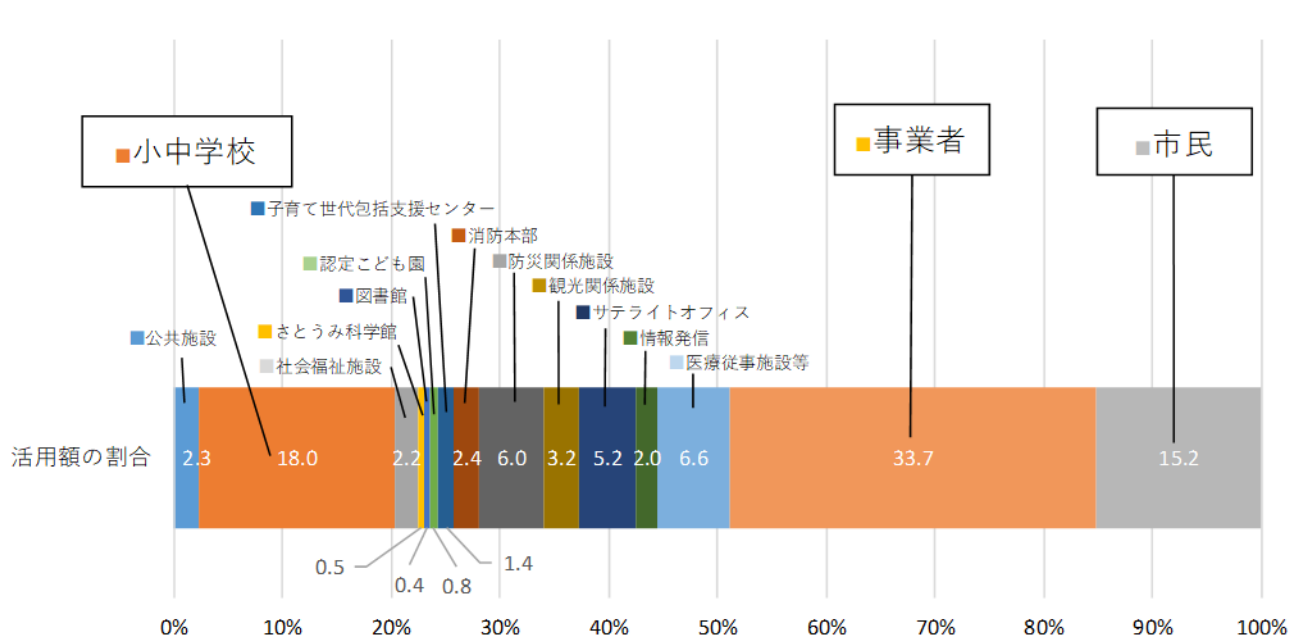
令和3年度 293,642,733円（うちR2繰越分133,805,267円）

(2) 交付金活用事業数

令和2年度 71事業（うちR3繰越8事業）

令和3年度 32事業

(3) 交付金の活用割合（令和2・3年度合算）

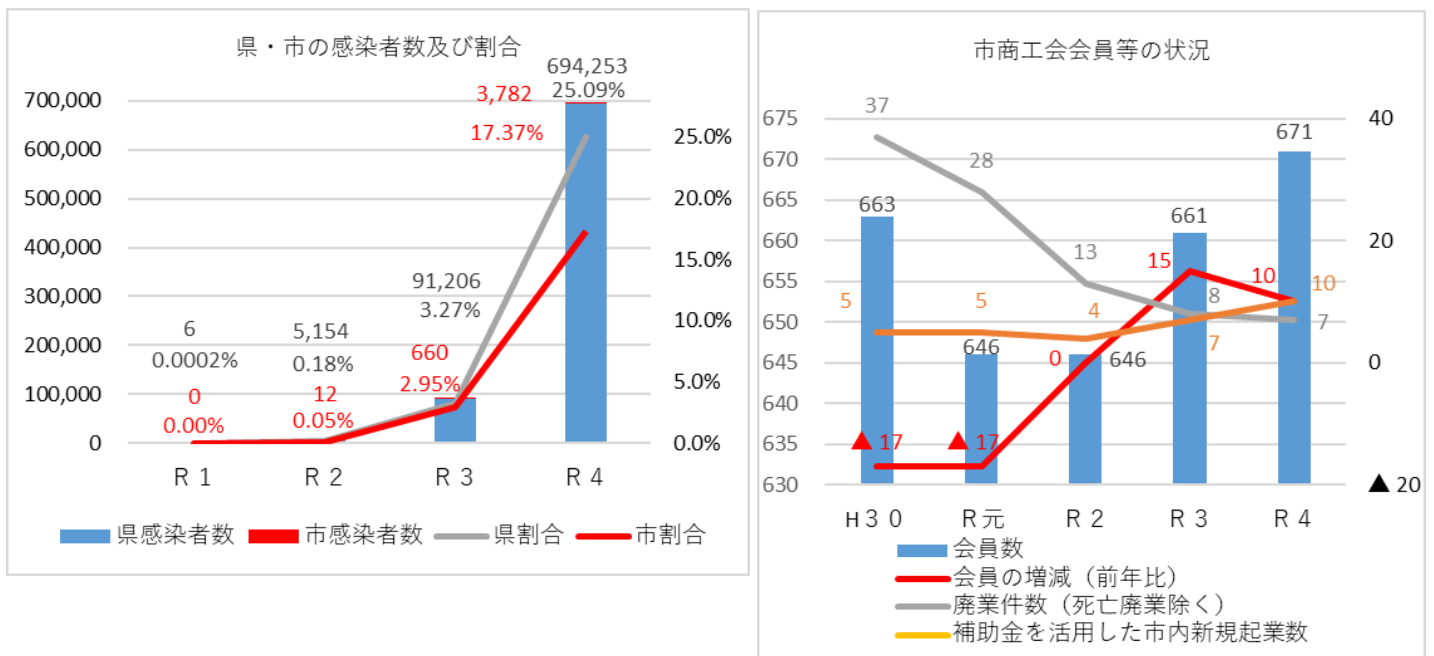


(4) 主な取組及び評価

- ① 各種施設の感染拡大防止対策を講じたことにより、直接接触する機会を抑え、利用者が安心して利用できる環境が整えられ、市民サービスの提供や事業を継続することができ、Web環境の整備等により業務の効率化も図られた。
- ② 生活困窮者や子育て世帯等の市民に対して支援を行うことにより、「安心した」、「急場を凌ぐことができた」などの声を多くいただき、生活費やマスク等の感染対策経費の負担軽減を図り、生活への不安解消へ繋げ、子どもの健やかな成長も支えることができた。また、各プレミアム付き販売事業では、消費喚起に繋がり、地域経済の支えとなった。
- ③ 医療従事施設等へ支援を行うことにより、感染対策を講じた医療・検査体制を確保し、市民サービス提供や予防接種の継続的实施に繋げた。
- ④ 各事業者等へ支援を行うことにより、経営の継続や廃業の回避、負担軽減を図り、新規起業及び事業展開にも繋がった。また、プレミアム付き食事券や商品券、特産品販売事業により、市内事業者の売上向上が図られた。
- ⑤ 各小中学校におけるGIGAスクール事業を推進し、感染対策やオンライン授業のための整備等を行い、生徒児童の教育を保障するとともに、円滑な授業運営に繋げた。

(5) 江田島市の状況

本市感染者の状況は、人口に対する感染者の割合が県の割合を下回り、感染を抑えられた結果となった。また、事業者の状況として、コロナ禍においても商工会の会員は増加するとともに廃業件数は抑えられた結果となった。



3 今後の対応

引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況や国の動向も踏まえながら、取組の継続や見直し、新たな支援策の検討を行います。

また、公表は広く透明性を持った手法で行うこととされているため、市ホームページで会議資料とあわせて掲載します。